

物流／販売・サービス段階での取り組み

スバルでは、関係会社（株）スバルロジスティクスと共同で、物流段階における輸送の効率化と梱包資材の削減やリサイクルなどに取り組み環境負荷の低減を図っています。2005年度は改正省エネ法対応も視野に入れ全社の組織体制の強化を図り、環境負荷のさらなる低減と輸送コストの削減に向けた取り組みをスタートさせました。

また、当社は販売特約店と一体となった環境活動を推進しており、2005年度は国内の全スバル販売特約店において環境コンプライアンス点検を推進しました。

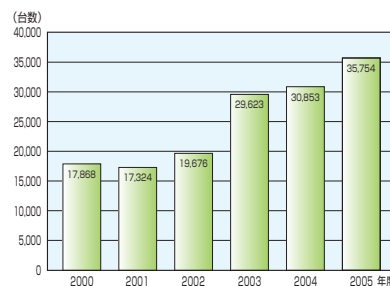
温暖化防止に向けての取り組み

完成車輸送における環境負荷の低減

(株)スバルロジスティクスの取り組み

完成車の輸送ではキャリアカーの実荷率を高めキャリアカーの稼働台数を減らすことで環境負荷低減に貢献できます。スバルロジスティクスでは、同業他社と完成車の共同輸送の取り組みを進めています。2005年度の共同輸送取扱量（他社への委託台数と他社からの委託台数の合計）は、35,754台と前年度に比べ約16%拡

大しました。また国内のスバル販売特約店向けの搬送に伴うCO₂排出量は、前年度比で8.7%削減しました。スバルロジスティクスでは輸送会社にアイドリングストップ装置やデジタルタコグラフの装着を推進し、エコドライブなどマナー向上活動についても継続的に行ってまいります。



注：2005年度環境社会報告書44ページで紹介した共同輸送量の各年度実績値に誤りがありました。今回のグラフで訂正をいたします。

リサイクル社会へ貢献する取り組み

用品供給における環境負荷の低減

スバル部品センターの取り組み

スバル部品センターでは、国内のスバル販売特約店向けの専用便配送に繰り返し使用できるリターナブルダンボール箱を活用することによりダンボール使用量削減に取り組み、2004年度から「太田納整センター」*1向けに展開してきました。

このたびは太田納整センター向け用品について小物用品出荷を中心に折り畳みコンテナに切替えました。これにより梱包資材の

使用量削減に取り組み、年間でダンボール使用量2,700kgの削減が見込まれ環境負荷と同時に梱包費の低減が図られています。



繰り返し使用できるリターナブルダンボール箱

海外向けノックダウン部品梱包資材の削減

(株)スバルロジスティクスの取り組み

ノックダウン部品の梱包荷姿設計を担うスバルロジスティクス部品物流本部では、梱包材の再利用化を柱とした環境負荷低減に取り組んでいます。2005年度下期から機械加工部品に使用している発泡スチロール製梱包材の再利用計画に着手し、2006年3月より再利用を開始しま

した。これまで現地で埋立処理されていた発泡スチロール材の再利用化は、埋立量削減による環境負荷軽減のみならず成品の製造過程におけるCO₂削減も期待できます。今回の活動でスバルロジスティクスでは発泡スチロールの約80%を再利用化することにより、年間64トンの削減を見込んでいます。



返却され清掃が行われ、検査後に再利用を待つ梱包材

*1：太田納整センターは、群馬県太田市に1998年4月に開設した全ての作業が共通のオンライン情報管理システムで処理される新車の納車整備工場です。メーカーや販売店の検査基準を順守し、均一化された納車整備品質の新車を全国のスバル販売特約店へ供給しています。（太田納整センターの取り組みは、(株)スバルロジスティクスのホームページでもご覧いただけます。http://www.subaru-logistics.co.jp）

販売・サービス段階での取り組み

スバル販売特約店での環境取り組み

富士重工業では環境活動においても国内のスバル車を販売する特約店と一体となった取り組みを進めています。2003年12月より、「スバルエコアクション21」と冠して、環境方針に「①環境コンプライアンスを重視し地域社会の環境における貢献度を高める、②環境管理システムの継続的改善を行い環境にやさしい店づくりを目指す」の2つを掲げ、全国のスバル販売特約店が参加する環境コンプライアンス活動に取り組んでいます。まず全国特約店の営業店舗、サービス工場の中からモデル拠点をを選び、環境コンプライアンスの点検、改善活動を進めてきました。2005年をはじめよりこの活動対象を全営業拠点（店舗、サービス工場）へ拡大し、特約店ごとの自主的な取り組みとして「環境コンプライアンス拠点総点検」を開始しました。2006年3月末には全拠点の現状確認結果をふまえ、改善が必要な拠点は順次改善対策を進めてい

ます。当社もグループの取り組みや法対応、社会情勢などの最新情報を織り込んだ季刊誌を発行するなど、特約店の活動支援を継続しています。販売特約店の環境マネジメントシステム確立の取り組みとしては2005年度に新たに大阪スバル(株)、

新潟スバル自動車(株)の2社がISO14001認証を取得して、スバル販売特約店のISO14001認証取得は累計5社となりました。



スバルエコアクション21通信

再生部品・中古部品の取り扱い

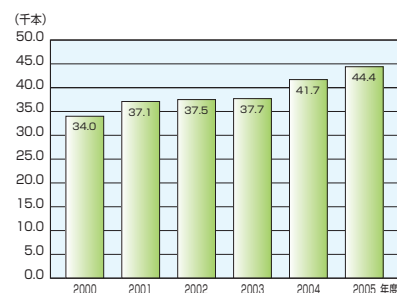
当社では国内のスバル販売特約店とともに再生部品（リビルト部品）や中古部品の取り扱いを行っています。再生部品については関連する会社と協力し2004年度よりエンジン・トランスミッション・ウォーターポンプの取り扱いを開始しています。

一方、中古部品につきましては外装パネル・ランプ・ホイールなどの部品について中古部品ネットワークと提携し取り扱いを行っています。

使用済みバンパーの回収

当社では業界ガイドラインに先駆けて1973年から樹脂部品への材料表示を行ってきました。この取り組みは現在、使用済みバンパーを回収して自動車部品にリサイクルする活動に役立っております。2005年度、全国から回収した使用済みバンパーの本数は44,373本（前年度実績41,658本 6.5%増加）でした。回収したバンパーは下表のように、スバルの各種部品にリサイクルし活用しています。

■使用済みバンパーの回収本数の推移



■再生部品の取り扱い品目

設定品目
エンジン・トランスミッション・CVT（無段変速機） オルタネーター・スターター ・ECU（エンジンコントロールボックス） ・ウォーターポンプなど

■車種別部品活用例

車種	部品
R1、R2、プレオ	ユニバーサルジョイントカバー アンダーカバー
レガシィ	アンダースポイラー バッテリーパン